

## 2

# 子どもたちの笑顔が輝き、誰もが健康でいきいきと暮らせるまち

## 施策体系

安心して子どもを産み育てられる環境づくり

「福山ネウボラ」の構築  
妊娠期からの一体的な子育て支援の推進

子どもの健やかな成長に向けた支援

援助を必要とする子どもや家庭への支援

健やかで安心な暮らしの確保

健康寿命の延伸  
食育の推進  
感染症発生予防・まん延防止  
食の安全・安心の確保

地域でつながりあい  
支えあうまちづくり

地域における「つながりあい」の促進  
地域における「支えあい」の促進  
地域福祉を支える仕組みづくり

高齢者が健やかに、いきいきと安心して暮らせるまちづくり

地域包括ケアシステムの構築  
介護保険サービスの充実

障がいのある人がいきいきと暮らせるまちづくり

健康づくりの推進と保育・療育の充実  
安心して生活できる体制整備

地域医療の充実

小児救急医療体制等の充実  
医療に係る人材の確保

高度医療・三次救急医療体制等の確保

高度専門医療の強化  
救急医療への対応

暮らしを支えるセーフティネットが確保されたまちづくり

保険制度等の健全な運営  
生活保護世帯等の自立支援

## 第1項

安心して子どもを  
生み育てられる環境づくり

## 目標とする姿

若い世代の希望の子育てを実現するまち



## 取組の方向性

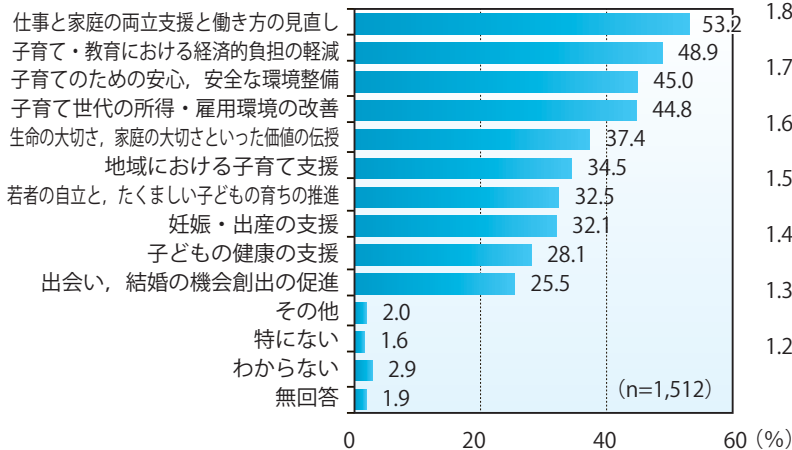
## [現状と課題]

- ・本市では、子どもたちの健やかな成長を支えるため、妊娠・出産期からのきめ細かな支援を始め、多様な保育サービスや子どもの発達支援の充実に取り組むなど、子育てにやさしいまちづくりを進めることで、全国的にも高い合計特殊出生率を維持しています。
- ・しかしながら、核家族化や地域のつながりの希薄化、就労形態の多様化、価値観の変化などにより、子育て支援に対するニーズは時代とともに変容し、複雑化しています。

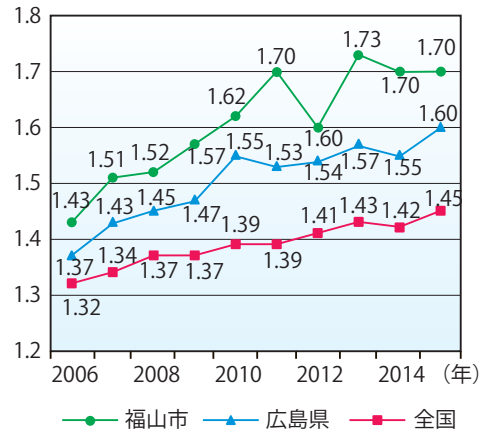
## [今後の方向性]

- ・妊娠期から出産、子育て期、就労・再就職支援まで切れ目ない相談・支援の場を提供する「福山ネウボラ」を構築し、子育て世帯の負担の軽減や安心して子どもを生み育てられる環境をより一層充実します。
- ・安心して働くことのできる子育て環境を整え、子どもの健全育成や子育てと仕事の両立支援に取り組めます。

少子化対策で期待される政策



合計特殊出生率の推移



(資料) 福山市資料

## 数値目標

「この地域で子育てをしたいと思う親」の割合 88.8%／現状（2015年度）→ **93.0%**／目標（2021年度）  
放課後児童クラブ6年生までの学年拡大実施クラブ数 0所／現状（2015年度）→ **全所**／目標（2019年度）  
保育所入所待機児童数 0人／現状（2015年度）→ **0人**／目標（2021年度）

## 目標達成のための取組

### ●「福山ネウボラ」の構築

妊娠期から出産、子育て期、就労・再就職支援まで切れ目ない相談・支援の場を提供する「福山ネウボラ」を構築し、積極的に推進します。

**主な取組** ◎ネウボラ（子育て世代包括支援センター）の整備

### ●妊娠からの一貫した子育て支援の推進

多様な子育てニーズに対応し、子育て支援における各分野が連携して、「福山ネウボラ」を支える施策を充実します。また、就学前施設を計画的に整備するとともに、放課後児童クラブ整備方針の着実な実施により、児童の健全育成などに取り組みます。

**主な取組** ◎子育て支援事業の充実

◎産前・産後サポート体制の充実

◎保育サービスの充実

◎就労・再就職の支援

### ●女性の活躍促進（再掲）

ふくやまワーク・ライフ・バランス認定制度などを推進し、事業者の仕事と生活の両立支援への理解を深めます。また、女性が活躍し、豊かで活力あるまちづくりを進めます。

⇒詳細は、「3 活力ある産業があり、安心・安全で快適に暮らせるまち 第2項 誰もが働きやすい雇用環境の実現」を参照

**主な関連計画** 福山市子ども・子育て支援事業計画（次世代育成支援対策推進行動計画）

福山市公立就学前教育・保育施設の再整備計画

福山市放課後児童クラブ整備方針



ふくやま子育て応援センター キッズコム プレイルーム



子育て講座

## 第2項

## 子どもの健やかな成長に向けた支援

## 目標とする姿

子どもが生まれ育った環境にかかわらず、夢や希望を持ち健やかに成長できるまち



## 取組の方向性

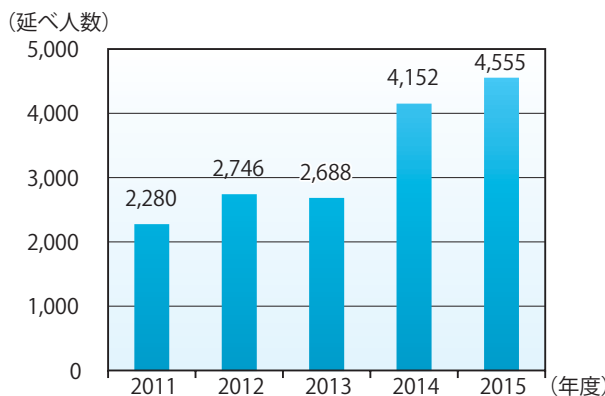
## [現状と課題]

- ・全ての子どもが適切な養育を受け、心身の健やかな成長・発達や自立・福祉が等しく保障されるよう、ひとり親家庭等の自立支援や子どもの貧困対策、児童虐待防止対策の更なる推進が求められています。
- ・本市では、親の就労に向けた支援や子どもの進学・就学に向けた学習支援、関係機関と連携した虐待の未然防止などに取り組んでいます。

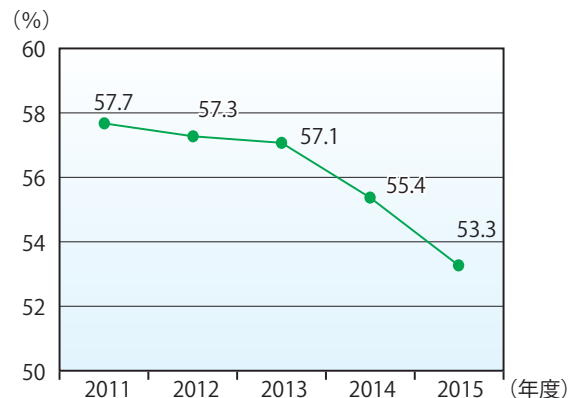
## [今後の方向性]

- ・乳幼児期から学童期、青年期まで、子どもの成長段階に応じた適切な支援を充実するとともに、援助を必要とする家庭等をこれらの支援策へ的確につなげていきます。
- ・親から子への貧困の連鎖や児童虐待の防止は社会的課題であり、関係機関で連携し、取組を強化します。また、生活困窮者等の支援をより一層充実します。

子どもの居場所・学習支援への参加人数の推移



児童扶養手当受給者における全部支給者の割合の推移



(資料) 福山市資料

## 数値目標

児童虐待による死亡事案 0件/現状 (2015年度) → 0件/目標 (2021年度)

子どもの居場所・学習支援の参加人数 延べ4,555人/現状 (2015年度) → 延べ5,000人/目標 (2021年度)

## 目標達成のための取組

### ● 援助を必要とする子どもや家庭への支援

虐待防止のため、関係機関との連携を強化するとともに、進学や就学等の子どもの健全育成支援やひとり親家庭の支援などに取り組みます。

#### 主な取組

- ◎児童虐待防止推進体制の充実
- ◎子どもの貧困対策の充実
- ◎ひとり親家庭支援の推進

### ● 雇用・就業機会の確保（再掲）

関係機関と連携し、中小企業とのマッチング機会の充実など雇用・就業機会の確保に努めます。  
⇒詳細は、「3 活力ある産業があり、安心・安全で快適に暮らせるまち 第2項 誰もが働きやすい雇用環境の実現」を参照

#### 主な関連計画

福山市地域福祉計画2017

福山市子ども・子育て支援事業計画（次世代育成支援対策推進行動計画）



児童虐待防止啓発事業



子どもの居場所づくり事業  
(あつまローズ)

## 第3項 健やかで安心な暮らしの確保

### 目標とする姿

健康寿命が長く、  
いきいきと暮らすことができるまち



### 取組の方向性

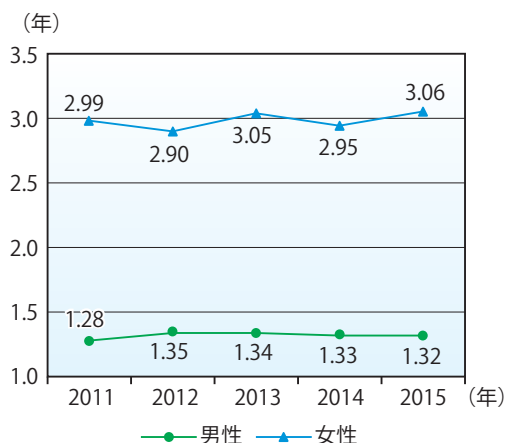
#### [現状と課題]

- ・いつまでも健康でいきいきと暮らすためには、健全な生活習慣を身に付け、生活習慣病を予防することが大切です。
- ・人々の生活スタイルの変化や生活・行動のグローバル化に伴い、感染症・食中毒や災害時の健康被害が発生しやすい状況にあり、市民の生命と健康を守る健康危機管理の重要性が高まっています。
- ・本市では、地域や関係団体と連携し、がん検診・特定健診の受診勧奨や食育の推進、健康教育・健康相談の実施など、市民の健康づくりに取り組んでいます。
- ・保健所を中心に感染症の発生予防やまん延防止、食の安全の確保に取り組んでいます。

#### [今後の方向性]

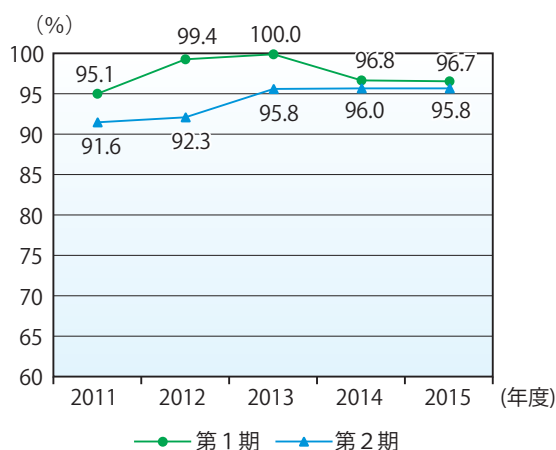
- ・市民一人一人が積極的に健康づくりに取り組むことができるよう、データに基づく健康管理の実施など健康への関心を高める環境を整備します。
- ・子どもの頃から運動・食育・健診に関する理解を深め、若者の健康意識を高めるなど、市民や行政、関係団体、企業等が一体となって、健康づくりに取り組み、健康長寿社会を実現します。
- ・感染症対策や食品衛生対策の強化、検査体制の充実、感染症や食中毒に関する正しい知識の普及啓発など、市民の健康を守る体制を構築します。

平均寿命と健康寿命の差の推移



(資料) 厚生労働省「健康寿命の算定方法の指針」に基づき福山市で算出

麻疹風疹予防接種率の推移



(資料) 福山市資料

## 数値目標

平均寿命と健康寿命の差 男性1.32年/現状(2015年) → 縮減/目標(2021年)

(平均寿命 80.67年)  
(健康寿命 79.35年)

女性3.06年/現状(2015年) → 縮減/目標(2021年)

(平均寿命 87.50年)  
(健康寿命 84.44年)

麻疹風しん予防接種率 1期(1歳) 96.7%/現状(2015年度) → 95.0%以上の接種率維持/目標(2021年度)

2期(就学前1年間) 95.8%/現状(2015年度) → 95.0%以上の接種率維持/目標(2021年度)

## 目標達成のための取組

### ●健康寿命の延伸

健康上の問題で日常生活が制限されることなく、健やかでいきいきと暮らせるよう、生活習慣病予防など健康づくりを推進します。

#### 主な取組

- ◎生活習慣病予防対策の充実
- ◎地域における健康づくりの推進

### ●食育の推進

福山市伝統の食文化を大切に、適正体重の維持やバランスの取れた食生活を実践します。

#### 主な取組

- ◎健全な食生活の推進

### ●感染症発生予防・まん延防止

健康危機管理体制を強化し、感染症の発生予防・まん延防止に取り組みます。

#### 主な取組

- ◎感染症予防対策の推進

### ●食の安全・安心の確保

食の安全を守り、健康危機管理体制を強化します。

#### 主な取組

- ◎食品衛生の普及啓発・監視指導の実施

#### 主な関連計画

- 第2次福山市健康増進計画
- 第2次福山市食育推進計画
- 福山市新型インフルエンザ等対策行動計画
- 福山市食品衛生監視指導計画

## 第4項

# 地域でつながりあい 支えあうまちづくり

### 目標とする姿

住み慣れた地域で  
自分らしく誇りを持って暮らせるまち



### 取組の方向性

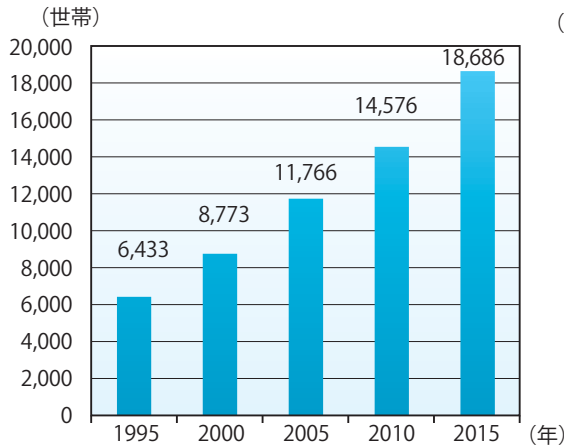
#### [現状と課題]

- ・一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の増加，社会的孤立，生活困窮者の問題など地域課題が複雑化する中，家庭や地域で支え合う力が低下しています。
- ・本市では，地域福祉計画を策定し，住み慣れた地域で生活を支えるため，関わり合うきっかけづくりや人材育成など，心豊かに暮らせる地域づくりに取り組んでいます。

#### [今後の方向性]

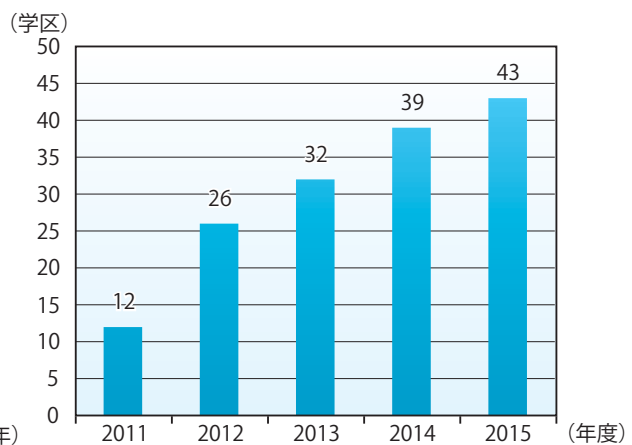
- ・個人や家庭では解決することが困難な生活上の課題を解決するため，自治会（町内会）などの関係団体が連携し，地域全体でより効果的な支援を行っていきます。
- ・地域で交流活動などに関わる人同士がネットワークを構築し，様々な課題を地域の中で協働して解決する仕組みを構築します。

一人暮らし高齢者世帯数の推移



(資料) 国勢調査「総務省」

避難支援プラン作成学区数の推移



(資料) 福山市資料



## 数値目標

認知症カフェ<sup>23</sup>開設数 13か所／現状（2016年度）→ **36か所／目標（2021年度）**

避難支援プラン作成学区数 43学区／現状（2015年度）→ **50学区／目標（2021年度）**

## 目標達成のための取組

### ●地域における「つながりあい」の促進

住民同士が気軽に集い、交流できる場の提供など、人と人とのつながりやお互いの理解を深めるための取組を推進します。

主な取組 ◎つながりあう機会の充実

### ●地域における「支えあい」の促進

地域で支援を必要とする人が孤立しないよう、身近な場所で気軽に、生活上や福祉の課題に関して相談できる体制を充実します。

主な取組 ◎相談支援体制の充実

### ●地域福祉を支える仕組みづくり

地域福祉活動を担うための人材の育成や地域住民が地域活動等に参加しやすい環境を整備します。

主な取組 ◎誰もが安心して暮らせる仕組みづくり

主な関連計画 福山市地域福祉計画2017



ふれあい・いきいきサロン活動



避難支援プランに基づいた災害訓練

<sup>23</sup> 認知症の人と家族、地域住民、専門職などの誰もが参加でき、集うことができる場

## 第5項

# 高齢者が健やかに、いきいきと安心して暮らせるまちづくり

### 目標とする姿

医療・介護・健康づくりなどの生活に必要なサービスが一体的に受けられる仕組みが構築されたまち



### 取組の方向性

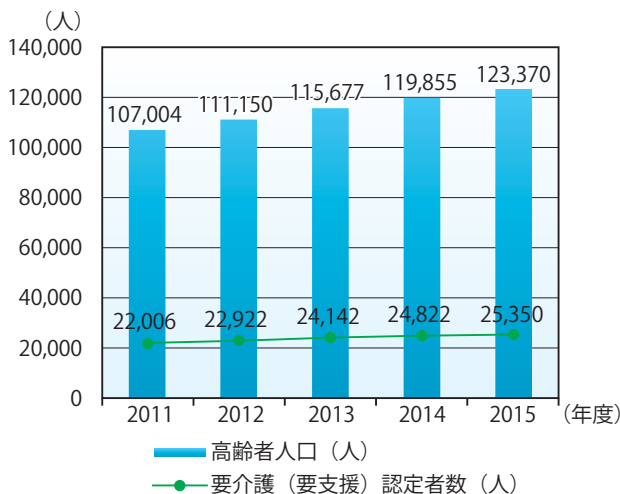
#### [現状と課題]

- ・一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、認知症高齢者の増加に対応し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域全体で高齢者の暮らしを支える「地域包括ケアシステム」の構築が求められています。
- ・本市では、介護サービスを充実するとともに、健康づくりや介護予防・日常生活支援に取り組んでいます。

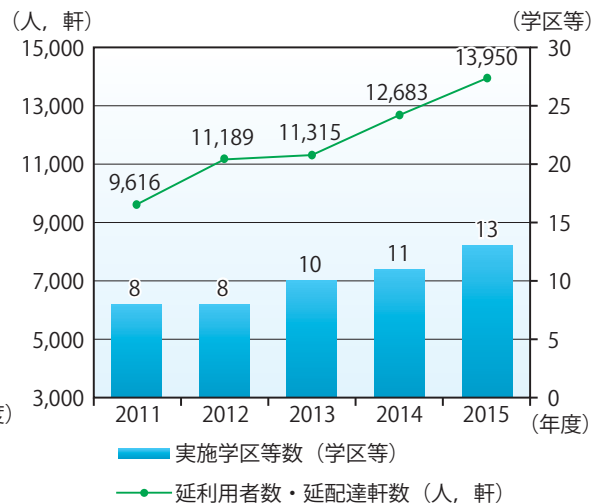
#### [今後の方向性]

- ・住民同士の互助の仕組みなどの地域力を生かした介護予防や外出・買い物支援といった生活支援の体制づくり、認知症施策、医療と介護の連携を進めます。
- ・介護人材の確保・育成等を通じた介護サービスの質と量の充実などに取り組むとともに、介護・医療に関わる多職種の連携を強化した「地域包括ケアシステム」の構築を進めます。

要介護（要支援）認定者数の推移



高齢者外出・買物支援事業実施状況の推移



(資料) 福山市資料

## 数値目標

いきいき百歳体操<sup>24</sup>実施か所数 14か所／現状（2015年度）→ **195か所／目標（2021年度）**  
在宅生活を支える24時間対応の医療・介護連携サービスがある日常生活圏域<sup>25</sup>数

全11圏域中 5圏域／現状（2015年度）→ **全11圏域中 11圏域／目標（2021年度）**

## 目標達成のための取組

### ●地域包括ケアシステムの構築

高齢者が支援や介護が必要な状態になっても、住み慣れた自宅や地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援サービスを切れ目なく提供できる体制を構築します。

#### 主な取組

- ◎介護予防・日常生活支援の推進
- ◎在宅医療・介護連携の推進
- ◎認知症施策の推進
- ◎権利擁護の推進

### ●介護保険サービスの充実

質・量の両面にわたり利用者本位のサービスを充実することにより、高齢者一人一人の生活環境や心身の状況に応じたサービス提供を進めます。

#### 主な取組

- ◎介護保険サービスの基盤整備
- ◎介護サービスの質の確保・向上
- ◎介護人材の確保・育成

#### 主な関連計画

- 第7次福山市高齢者保健福祉計画
- 第6期福山市介護保険事業計画
- 福山市地域福祉計画2017



いきいき百歳体操



高齢者おでかけ支援事業

<sup>24</sup> 2002年（平成14年）に高知市が開発した重りを使った筋力運動の体操で、週1回以上取り組むことで、介護予防の効果が実証されているもの。

<sup>25</sup> 高齢者が住み慣れた地域で、適切なサービスを受けながら生活できるように、地理的条件、人口、旧行政区、住民の生活実態や地域活動の単位などを考慮し、設定したもの。本市では11の日常生活圏域を設定している。

## 第6項

# 障がいのある人がいきいきと暮らせるまちづくり



### 目標とする姿

障がいのある人が地域社会で自立し、安心して暮らせるやさしさと信頼に満ちたまち

### 取組の方向性

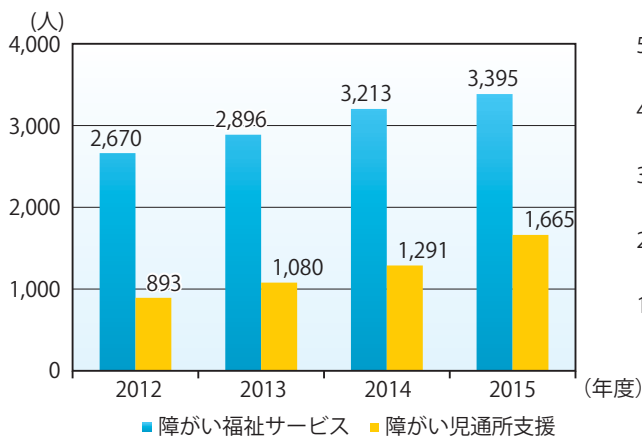
#### [現状と課題]

- ・障がいのある人が、地域の中で自分らしい生活を実現していくためには、一人一人に応じた支援と市民の理解が必要です。
- ・本市では、障がいのある人の相談支援や福祉サービス等の提供体制、就学前児童の発達障がいへの支援が充実していますが、より一層のきめ細かな取組が求められています。

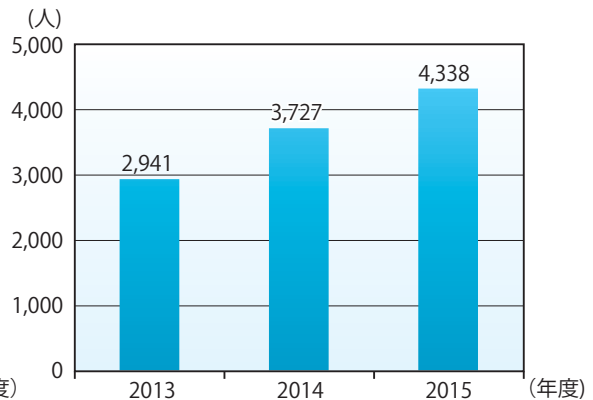
#### [今後の方向性]

- ・障がいのある人が地域で安心して生活するため、福祉サービスの適切な利用の支援や利用者ニーズに応じた相談支援体制の更なる充実に取り組みます。
- ・医療機関など関係機関と連携を強化し、障がいの原因となる疾病の予防や早期発見、早期治療、療育支援に努めます。

障がい福祉サービス等の利用者数の推移



こども発達支援センター延べ利用人数の推移



(資料) 福山市資料

## 数値目標

福祉施設の入所者の地域生活への移行人数

19人／現状（2011年度～2015年度）→ **50人／目標（2017年度～2021年度）**

## 目標達成のための取組

### ●健康づくりの推進と保育・療育の充実

障がいの原因となる病気などの予防、早期発見、早期治療や療育支援に努め、保健・福祉・医療・療育・教育の連携を強化・充実します。

#### 主な取組

- ◎保健・医療の充実
- ◎障がい児保育の充実
- ◎発達障がいへの支援

### ●安心して生活できる体制整備

障がいのある人が、必要なサービスを利用しながら、地域で安心して暮らしていける体制を整備します。

#### 主な取組

- ◎相談支援体制の充実
- ◎障がい福祉サービス等の充実

#### 主な関連計画

福山市障がい者保健福祉総合計画  
第4期福山市障がい福祉計画



障がい者総合相談室・子ども発達相談室  
(クローバー)



子ども発達支援センター

## 第7項 地域医療の充実



### 目標とする姿

安心・安全な医療提供体制が確保され、  
市民が安心して生活できるまち

### 取組の方向性

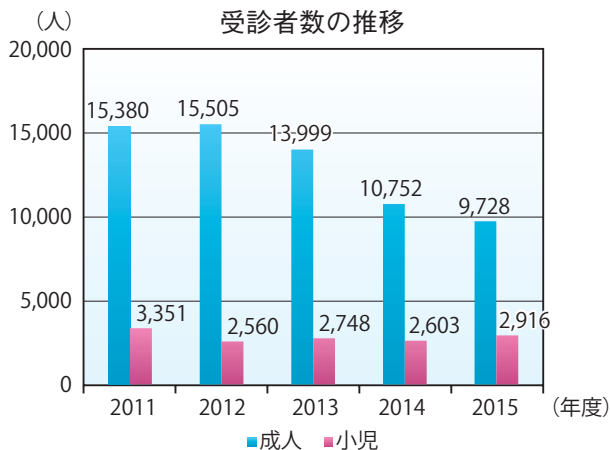
#### [現状と課題]

- ・超高齢社会を迎える中、生活の質の維持・向上をめざしながら、住み慣れた地域で暮らし続けるため、「病院完結型」から地域全体で支える「地域完結型」への転換が求められています。急性期から在宅までの連携や相談体制など、患者ニーズに合ったサービスが重要になってきます。
- ・医師や看護職員の不足、二次救急病院への軽症患者の受診等により、小児を始めとする救急医療の維持が難しい状況にあり、安定した医療提供体制の確保が急務となっています。

#### [今後の方向性]

- ・地域医療を安定的に維持するため、医療資源を生かしたネットワーク強化、役割分担・連携体制の確立、24時間365日急病・急患に対する救急医療体制の充実に取り組みます。
- ・広島県・岡山県と連携し、人材育成機能を強化するなど、地域医療を担う医師、看護職員の確保に取り組みます。

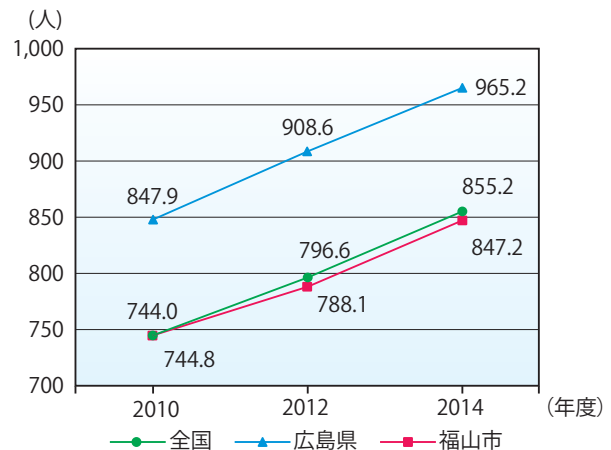
福山市二次救急輪番病院の当番日における  
受診者数の推移



※2013年5月福山夜間成人診療所開所

(資料) 福山市資料

人口10万人当たりの看護師数の推移



## 数値目標

### 小児二次救急医療の受入先確保

一年を通して毎日（365日）／現状（2015年度）→一年を通して毎日（365日）／目標（2021年度）

### 市内看護専門学校卒業生の市内定着率

68.9%／現状（2015年度）→74.5%／目標（2021年度）

## 目標達成のための取組

### ●小児救急医療体制等の充実

持続可能な周産期や小児救急の医療体制を整備します。

主な取組 ◎小児救急医療体制等の充実

### ●医療に係る人材の確保

看護師養成施設等の関係機関と連携し、地域医療を担う人材の確保に取り組みます。

主な取組 ◎看護職員確保対策の推進

主な関連計画 広島県保健医療計画  
広島県地域医療構想



1



2



3



4

- ① 岡山大学による小児救急医療等に関する市民講座 ② 小児救急医療の啓発  
③ 看護学生向け就職セミナー ④ 福山夜間成人診療所

## 第8項

# 高度医療・三次救急医療体制等の確保



### 目標とする姿

広域的な医療拠点として高度医療体制等が確保され、  
地域住民が安心して生活できるまち

### 取組の方向性

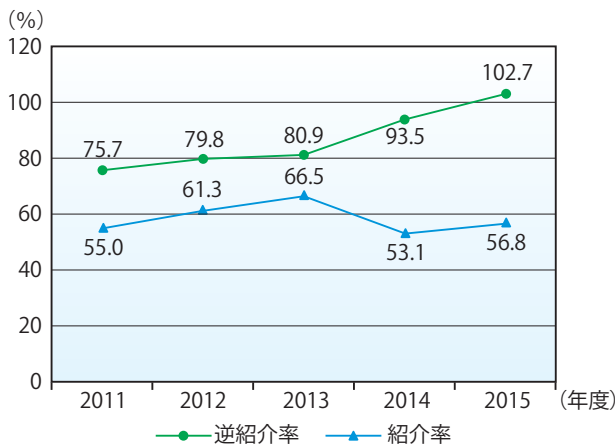
#### [現状と課題]

- ・福山市民病院は、福山・府中二次保健医療圏の中核病院として、高度で良質な医療を安定的かつ継続的に提供できるよう、最新の医療機器の導入など病院施設の整備や医療スタッフの確保に努めています。
- ・がんを始め、急性心筋梗塞、脳卒中、成人肺炎、大腿骨骨折など高齢者の患者の増加が見込まれる疾患において、より質の高い医療が提供できるよう、高度専門医療の機能強化に取り組んでいます。
- ・救命救急センターでは、継続して、重篤な患者に対する三次救急医療を担うとともに、災害時や救急患者等に対する医療提供体制の充実に努めています。

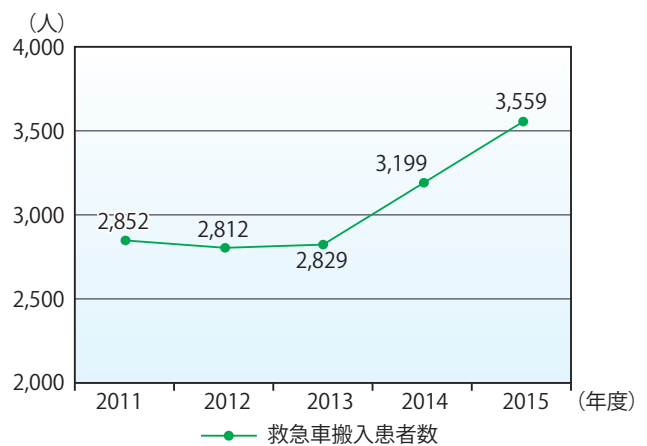
#### [今後の方向性]

- ・福山市民病院において、地域完結型の医療提供体制を確立するため、地域の医療機関等との連携を促進し、引き続き、「高度急性期」・「急性期」医療を担っていきます。

紹介率、逆紹介率<sup>26</sup>の推移



救急車搬入患者数の推移



(資料) 福山市資料

<sup>26</sup> 紹介率とは、他の医療機関からの紹介状を持参して来院した患者の割合、逆紹介率とは、他の医療機関へ紹介した患者の割合のこと。数値の上昇は、地域の医療機関・施設との連携が強化されたことを示す。



## 数値目標

紹介率 56.8%／現状（2015年度）→ **70%／目標（2020年度）**

逆紹介率 102.7%／現状（2015年度）→ **120%／目標（2020年度）**

救急車搬入患者数 3,559人／現状（2015年度）→ **3,710人／目標（2020年度）**

## 目標達成のための取組

### ●高度専門医療の強化

がん医療を始め、近隣の医療機関では治療が難しい症例や高難易度の手術に対応すべく、各診療科とも最新の医療に取り組みます。

主な取組 ◎高度専門医療機能の強化

### ●救急医療への対応

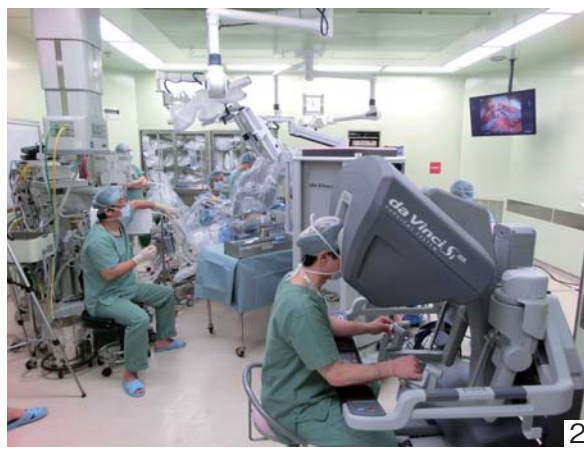
救命救急センターを併設した総合病院の強みを生かした、複数科の専門医の円滑な連携により、24時間救急患者に対応します。

主な取組 ◎三次救急医療体制の充実

主な関連計画 福山市民病院改革プラン



1



2



3



4

① 地域医療連携の窓口 ② 内視鏡手術支援ロボット ③ 放射線治療装置 ④ ドクターヘリ用ヘリポート

## 第9項

# 暮らしを支えるセーフティネットが確保されたまちづくり

### 目標とする姿

健康的な生活が保障され、  
自立した生活を送ることができるまち



### 取組の方向性

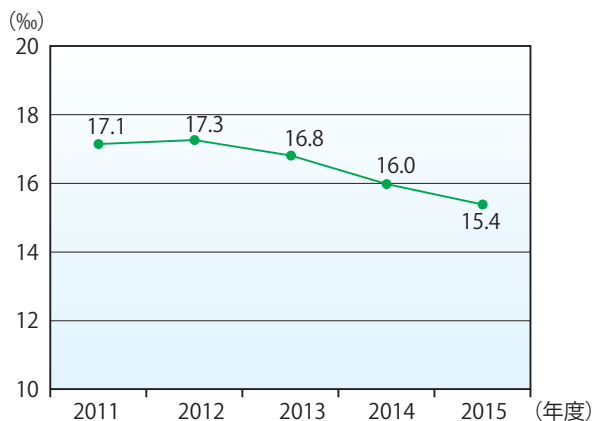
#### [現状と課題]

- ・ 超高齢社会を迎え社会構造が変化する中、持続可能な社会保障制度の確立のため、医療保険、介護保険、障がい福祉、生活保護の各制度の連携などにより、給付と負担の均衡がとれた適正な運営が求められています。
- ・ 本市では、生活保護に至る前の生活困窮者に対し、就労支援など自立に向けた取組を充実することで、新たなセーフティネットの構築に取り組んでいます。

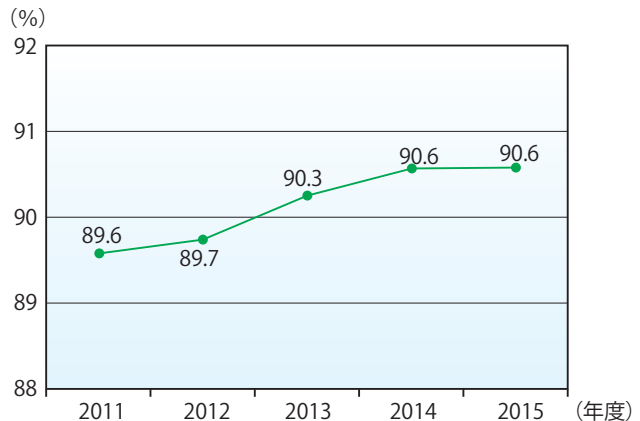
#### [今後の方向性]

- ・ 生活困窮者の自立支援や生活保護世帯の就労支援の更なる充実により、給付を受ける側から支える側へと自立に向けた歩みを支援します。
- ・ 国全体の社会保障制度の見直し、改革に沿った市民の安心を支える持続可能な制度として各種保険・福祉制度の効果的な連携に取り組みます。

生活保護受給率の推移



国民健康保険税現年分の収納率の推移



(資料) 福山市資料

## 数値目標

後発医薬品の使用拡大【生活保護】 74.0%／現状（2015年度）→ **80.0%以上／目標（2021年度）**  
【国民健康保険】 62.0%／現状（2015年度）→ **80.0%以上／目標（2021年度）**  
国民健康保険税の現年分収納率 90.6%／現状（2015年度）→ **92.0%以上／目標（2021年度）**

## 目標達成のための取組

### ●保険制度等の健全な運営

医療保険、介護保険・福祉制度の健全な運営に努めます。

#### 主な取組

- ◎生活保護制度の健全な運営
- ◎国民健康保険制度の健全な運営
- ◎保険料収納率の向上推進

### ●生活保護世帯等の自立支援

生活困窮者自立支援センターの取組を充実するほか、生活保護制度の適正な実施や生活保護世帯の自立に向けた取組を強化します。

#### 主な取組

- ◎生活保護受給者の自立支援

#### 主な関連計画

福山市障がい者保健福祉総合計画  
第2次福山市健康増進計画  
第7次福山市高齢者保健福祉計画  
第6期福山市介護保険事業計画



納税案内センター



生活困窮者自立支援センター